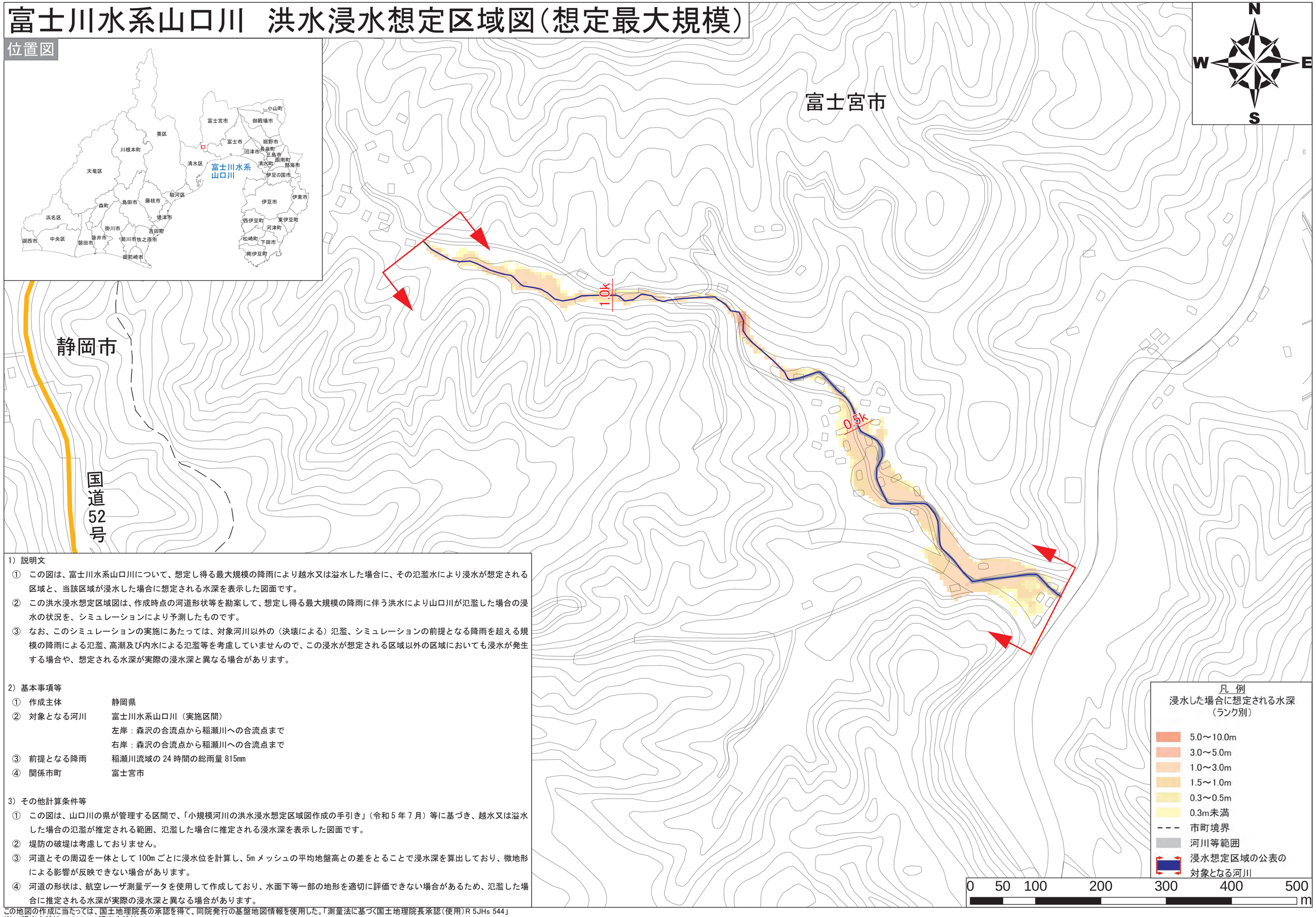
富士川水系山口川　洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1）説明文

① この図は、富士川水系山口川について、想定し得る最大規模の降雨により越水又は溢水した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により山口川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2）基本事項等

①	作成主体	静岡県
②	対象となる河川	富士川水系山口川（実施区間） 左岸：森沢の合流点から稲瀬川への合流点まで 右岸：森沢の合流点から稲瀬川への合流点まで
③	前提となる降雨	稲瀬川流域の 24 時間の総雨量 815mm
④	関係市町	富士宮市

3）その他計算条件等

① この図は、山口川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和 5 年 7 月）等に基づき、越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

② 堤防の破堤は考慮しておりません。

③ 河道とその周辺を一体として 100m ごとに浸水位を計算し、5m メッシュの平均地盤高との差をとることで浸水深を算出しており、微地形による影響が反映できない場合があります。

④ 河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 544」
※A1版出力時は1:2,500、A3版出力時は1:5,000